

## 1 部活動改革の目的と課題

中学校の部活動においては、少子化に伴う学校の小規模化等により、生徒の希望する部活動がない事例や指導者不足により専門的な技術指導を受けることのできない事例が増加しております。また、部活動改革の第一歩として、休日に教科指導を行わないことと同様に、休日に教師が部活動の指導に携わる必要がない環境を構築していく必要があります。このような諸課題の解決を図るため、令和5年度以降、3年間程度を改革推進期間と称し、地域の持続可能で多様なスポーツ・文化芸術活動環境を一体的に整備するとともに、休日等の部活動の地域移行を速やかに実施することで、生徒たちの多様な体験機会を確保してまいります。

## 2 本市の部活動の現状

まず部活動への参加については、いずれの中学校も「任意参加」の方針を取っており、生徒の希望に応じた部活動運営に努めております。しかしながら、昨今の少子化による生徒数の減少から、特に団体競技では学校単独ではチーム編成ができず、他校との合同チームという形を取らざるをえない状況が続いています。将来的にも生徒数の減少が見込まれることから、これまで合同チーム編成を経験してきた「野球」、「サッカー」、「バスケットボール」、「バレーボール」を始めとする団体競技については、地域等が受け皿となり生徒たちの活動を維持していく必要があります。これらの活動を休日等の「地域クラブ活動」として確立し、生徒たちの資質・能力を高める十分な活動時間や場所の確保、専門性のある指導者による質の高い指導、外部ゲストティーチャーによる特別教室等の開催など、学びと育ちの両面から生徒たちの健全育成を図ってまいります。

## 3 地域移行の方向性

- ・令和5年度から令和7年度の3年間程度で、すべての部活動の休日等の地域移行を目指します。
- ・令和5年度については、「地域野球クラブ」を試行します。
- ・その他の部活動は、地域野球クラブの成果を検証しながら、受け皿となる環境が整い次第、順次進めていきます。